

# 実践記録 シリーズ

175

## 南魚沼市大和地区のコミュニティホール『さわらび』

南魚沼市大和公民館 石田洋一郎

昭和58年12月大和町公民館（平成16年合併により大和町公民館から大和公民館に名称変更）が開設され、これまで多くの市民から施設を利用いただいております。当公民館は、図書室・コミュニティホールを併設しており、特に、コミュニティホール『さわらび』は当時の大和町民に良い音楽を聴いてもらうため、『早春コンサート』と銘打って、毎年3月にクラシックを中心に音楽鑑賞を行ってきました。

当時、一般の人達にはなかなかクラシック音楽はなじみず、空席が目立ちました。職員もチケット販売に大変苦労し



た思い出があります。そんな中、起死回生の手がありました。たまたま日本ツアーに来ていた『ベンチャーズ』のコンサートを実現することが出来たのです。これには職員も町民も大喜び。町民は朝8時30分からのチケット販売を目的にビートルズやローリングストーンズとともに活躍したベンチャーズを目の前で見られるとあって、公民館前は長蛇の列。400席は約15分でチケットは完売しました。喜んだのは町民もさることながら職員が一番喜びました。あれだけ苦労したチケット販売が一瞬で終わったのです。コンサートが大成功に終わったのは言うまでもありません。

### ○コミュニティホール『さわらび』

このホールは大和公民館開設の一年後に公民館に隣接して建設された客席400席の小さなホールです。



緞帳も当時の保育園児が描いたデザインをモチーフに作成されました。ホールがなかったころは、秋に行われる町民参加の大和町芸能祭は中学校の体育館で行われ、音響や照明などの機材の持ち込みなどは、大変な苦労があり、観客は床に座って観賞していたと聞いて

います。ホールが出来てからは、もちろんそんなことはなく、近年は、子供達のピアノ発表会・学校の音楽発表会ダンスや踊りの発表会・講演会など幅広い利用をいただいております。

客席が400席（実際は392席）なので、250人程入ると『満席に近いな〜』という感じがします。

一応ホールなので一通りの設備は完備しております。舞台と袖がちよっと狭いのが欠点ですが、近くに来ましたら、ぜひお立寄りください。

### ○『自主事業』

大和公民館では、自主事業(入場無料)を行っております。ひとつは今年で26回を数える『さわらび』演劇祭、もうひとつは22回目の『さわらび』音楽祭です。

#### \*『さわらび』演劇祭

演劇祭は魚沼地域の高校演劇部、そして南魚沼市内の一般の演劇愛好団体の出演で毎年9月上旬の土・日の2日間開催



しております。実行委員会を開催し、様々な計画を立てます。

演劇祭は出演団体が音響や照明を自ら操作をします。そのため『さわらび操作師会』（ホール運営をするための団体）の指導を受けて操作をします。ぜひご覧になってください。

#### \*『さわらび』音楽祭

音楽祭は魚沼地域の小・中学校の鼓笛隊や吹奏楽部高校の音楽部・魚沼の音楽サークル・音楽愛好者による発表会です。



オカリナ・ピアノ・アカペラ・フォーク・エレキなど種々様々な発表です。毎年10月下旬の日曜日に開催しており、演劇祭と同じく、実行委員会を開催し、リハーサルを経て、発表会に臨んでます。身近な人たちの出演とあって、足を運んでくれる人も年々多くなってきております。